

校番	62	ホームルーム活動	生徒会活動	1	学校行事	別紙様式
----	----	----------	-------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	安西高等学校	校長	澄川 利之	生徒指導主事	鯉迫 勝也
-----	--------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『生徒会主導の全校集会』

取組のねらい『キーワード 社会につながる対話へのしかけ』

受動から能動へ。主体的な生徒間の対話を通じて、生徒自らが学校環境を変化、変革させていくための活動を模索していく。

取組の具体的内容『キーワード 生徒中心の対話と主体的活動』

- 生徒会執行部主体の全校集会の実施。(出席教員は特活 2 名, 主幹教諭のみ)
 - ・生徒からの意見集約, 意見交換→現時点の学校をどのように考えているか。今後, どのように変えていきたいか。
- 着ベル運動取り組みに関する提案, 実施 ※授業担当教員は着席の指示をしない
 - ・各クラスで始業時における着席状況のカウント→生徒会集計→クラスへ提示
 - ・全校集会 1 ・全校集会 2 ・着ベル集計 1 ・着ベル集計 2



取組の課題・創意工夫『キーワード；より発展的にするための工夫』

- 執行部への評価を上げていく→信頼される生徒会
- 生徒たちの意見が多岐にわたりすぎて焦点がぼやけた。
 - 次回より, 集会のテーマを具体的にした形での実施
- クラスにより集計のばらつき→集計の徹底
- 結果の周知徹底→結果をどのようにつなげていくか

取組の成果(効果)『キーワード；主体的態度の育成』

- ◇教員側が想定した以上に積極的な意見が生徒達から出た。
- ◇発言に対する反対意見等もあり議論の場となっていた。
- ◇教室で「座ろうで!」という自発的な声上がるなどの効果が見れた。(クラス差大きい)

今後の展開『キーワード；更なる高みを目指して』

- ①学期に 1 回の集会の実施
- ②挨拶運動, 清掃活動, 自主的な校則順守への発展
 - ※最終目標：学校を変革することにより必要なくなる校則の改変

他校へのアドバイス『キーワード；我慢!』

- ・主体的取組への構築をするとき, 生徒各自に学校生活への目標設定をさせることは必要不可欠であるが, 1 年次 2 年次 3 年次と丁寧に確認する必要がある。
- ・目に見える取組結果を期待したいが, 2 年 3 年という長いスパンで取り組みを考えていく必要がある。